⑨ 日 本 国 特 許 庁 (JP) ⑪実用新案出願公開

<sup>⊕</sup> 公開実用新案公報(□) 昭63-69628

@Int.Cl.⁴

識別記号

厅内整理番号

❷公開 昭和63年(1988)5月11日

B 60 K 23/00

H-6948-3D

審査請求 未請求 (全 頁)

❷考案の名称 セレクト位置表示装置

②実 関 昭61-164280

**钞出 顧 昭61(1986)10月28日** 

神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地 日産自動車株式会社

日産自動車株式会社

神奈川県横浜市神奈川区三町2番地

砂代 理 人 弁理士 宮内 利行



#### 明細書

- 1. 考案の名称
  セレクト位置表示装置
- 2. 実用新案登録請求の範囲

自動変速機のセレクトレバー位置を発光装置に より表示するセレクト位置表示装置において、

セレクト位置表示装置の発光量を所定の運転条件の場合に周期的に変化させる兼用表示装置が設けられていることを特徴とするセレクト位置表示装置。

- 3. 考案の詳細な説明
- (イ)産業上の利用分野

本考案は、自動変速機のセレクト位置表示装置に関するものである。

(ロ) 従来の技術

従来のセレクト位置表示装置としては、例えば 特開昭47-44620号公報に示されるような ものがある。すなわち、自動変速機のセレクトレ バーと連動して作動するスイッチが設けられてお り、これによりセレクトレバーの選択位置に対応



する表示ランプに通電されるように構成されている。これにより例えばセレクトレバーをDレンジにセレクトすると計器板上の表示装置のDレンジ位置のランプが点灯することになる。他のレンジの場合も同様である。

(ハ) 考案が解決しようとする問題点





ている車両の場合、クリーブ防止装置が作動していることを表示するようにするためにはやはり専用の別の表示装置を必要とする。本考案は、上記のような問題点を解決することを目的としている。

#### (二)問題点を解決するための手段

本考案は、セレクト位置表示装置を他の運転状態を表示する装置として兼用することにより上記問題点を解決する。すなわち、本考案によるセレクト位置表示装置には、セレクト位置表示装置の発光量を所定の運転条件の場合に周期的に変化させる兼用表示装置が設けられている。

#### (ホ)作用

セレクト位置表示装置はセレクトレバーの位置に対応したランプを点灯することにより運転者にセレクト位置を報知する本来的作用を行う。 これに加えて、所定の運転状態、例えばクリープ防止装置が作動している状態、セレクト位置と実際の変速段とが一致していない状態などの場合、兼用表示手段がランプの発光量を周期的に変化さ

せる。これにより所定の運転状態にあることをも 表示することができる。

(へ)実施例

(第1実施例)

第1図に本考案の第1実施例を示す。電源10 に対してランプ12、14、16、18、20、 22及び24が並列に接続されている。それぞれ P、R、N、D、3、2及び1レンジに対応する ランプ12、14、16、18、20、22及び 24にはそれぞれ直列にスイッチ26、28、 30、32、34、36及び38が接続されてい る。これらのスイッチ26~38はセレクト レバーと連動するロータリースイッチの接点とし て構成されている。これらのスイッチ26~38 にライト連動リレー40及び抵抗41が接続 され、更にこれにインジケータリレー42が 接続されている。ライト連動リレー40は車両の ライトスイッチをオンとしたときオフとなり、 それ以外はオンのリレーである。インジケータリ レー42はマイクロコンピュータにより構成され



るコントロールユニット 4 4 からの信号により オン・オフされるリレーである(インジケータリ レー 4 2 及びコントロールユニット 4 4 によって 兼用表示装置が構成される)。 コントロール ユニット 4 4 は、クリーブ防止装置 4 6 の作動を 制御する信号も出力し、また、これ以外の図ので で変速制御用アクチュエータなどの制御と てう。なお、クリーブ防止装置 4 6 と 行う。なお、クリーブ防止装置 4 6 と 特別 例えば特別昭 5 9 - 2 3 1 3 6 1 号公報、 5 9 - 2 0 6 2 9 5 号公報などに示されているも のを使用する。

次にこの実施例の作用について説明する。コントロールユニット44がクリーブ防止装置46を作動させる信号を出力させていないときにはいる。コジケータリレー42は常にオンとされている。これによりスイッチ26、28、30、32、34、36及び38の所定のものをオンとことによりこれに応じてそれぞれランプ12、14、16、18、20、22及び24が点灯する。運転者はランプ12~24の点灯によりセレ



クトレバーがどの位置にあるかを知ることができ る。コントロールユニット44がクリープ防止装 置46を作動させる信号を出力すると、インジ ケータリレー42にはこれを所定周期でオン・オ フされる信号が入力される。これにより、例えば セレクトレバーがD位置にありランプ18が点灯 していたとすると、ランプ18は所定周期で点滅 を開始することになる。スイッチ34がオンと なってランプ20が点灯している場合も同様であ る。これにより運転者はクリープ防止装置46が 作動してクリーブ防止状態にあることを知ること ができる。なお、ライト連動リレー40は車両の ライトスイッチと連動してランプ12~24の発 光量を調節するためのものである。すなわち、ラ イトを点灯するとランプ12~24の発光量が減 少する。

#### (第2実施例)

第 2 図に本考案の第 2 実施例を示す。この第 2 実施例は、第 1 実施例のライト連動リレー 4 0 と インジケータリレー 4 2 とを兼用させるようにし



たものである。すなわち、コントロールユニット 44からの信号がライト連動リレー40に入力さ れるようにしてある(この第2実施例ではコント ロールユニット44及びライト連動リレー40に よって兼用表示装置が構成される)。ライトス イッチ47の信号がコントロールユニット44に 入力されている。コントロールユニット44がク リーブ防止装置46を作動させる信号を出力させ ていない場合には、ライト連動リレー40は ライトスイッチ47がオンの場合にオフとされ、 逆にライトスイッチ47がオフの場合にオンとさ れる。これにより前述の第1実施例と同様にライ トスイッチ47に応じて発光量が調節される。 ントロールユニット44がクリーブ防止装置46 を作動させる信号を出力すると、ライト連動 リレー40にはこれを周期的にオン・オフさせる 信号が入力される。これにより、例えばランプ 18が点灯していた場合にはランプ18は明るい 状態と暗い状態とを周期的に繰り返すことに なる。これにより前述の第1実施例と同様に



クリーブ防止装置 4 6 が作動していることを運転者に表示することができる。

#### (第3実施例)

第3図に本考案の第3実施例を示す。電源50 にイグニッションスイッチ52を介してセレクト スイッチ54及びランプ66、67、68、 69、70、71、72及び73が接続されてい る。セレクトスイッチ54はセレクトレバーと連 動して作動するスイッチであり、それぞれセレク トレバーのP、R、N、D、4、3、2及び1レ ンジに対応する接点 5 7 、 5 8 、 5 9 、 6 0 、 61、62、63及び64を有している。これら の接点57~64の信号はコントロールユニット 65 (兼用表示装置)に入力される。それぞれ P、R、N、D、4、3、2及び1レンジを表示 するランプ 6 6 、 6 7 、 6 8 、 6 9 、 7 0 、 71、72及び73はそれぞれトランジスタによ り構成されるスイッチ74、75、76、77、 78、79、80及び81によって点灯状態が制 御されるようにしてある。スイッチ74~81の



作動はコントロールユニット 6 5 からの信号にいる。コントロールユニット 6 5 でいた 7 でのに 5 でいた 7 でのに 5 でのに

次にこの実施例の作用について説明する。通常の運転状態では、コントロールユニット65はセレクトスイッチ54から入力される信号に応じて信号を出力し、ランプ66~73のうち所定のものを点灯させる。例えば、Nレンジではランプ68が点灯し、Dレンジではランプ69が点灯す



る。次に高速で走行中に2レンジ又は1レンジに セレクトされた場合には次のような作用が行われ る。例えば高速で走行中に1レンジにセレクトさ れたとすると、接点64からの信号がコントロー ルユニット65に人力され、1レンジにセレクト されたことが検出される。また、変速段検出装置 82からは自動変速機が第何速状態にあるかが検 出され、これがコントロールユニット65に入力 される。コントロールユニット65は接点64か らの信号に基づいてランプ73を点灯させる。同 時に変速段検出装置82からの信号に基づいて現 在の変速段に対応するランプを点滅させる。従っ て、高速で1レンジにセレクトした場合には自動 変速機はまず例えば第3速状態となるため、ラン プ71が点滅することになる。すなわち、ランプ 73が連続的に点灯し、ランプ71が点滅する。 これにより1レンジで第3連状態にあることが表 示される。次いで車速が低下してくると第2速に 変速が行われる。この場合にはランプ71が消灯 され、ランプ72が点減をすることになる。更に



車速が低下して第1速になると、ランプ73のみが連続的に点灯することになる。これにより運転者はセレクト位置と実際の変速段とが相違する。転状態を認識することができ安全性が向上する。なお、この第3実施例においてもランプを点域させるのではなく、発光量を増減させることもできる。表示を行わせるようにすることもできる。

#### (第4実施例)



の作用・効果を得ることができる。

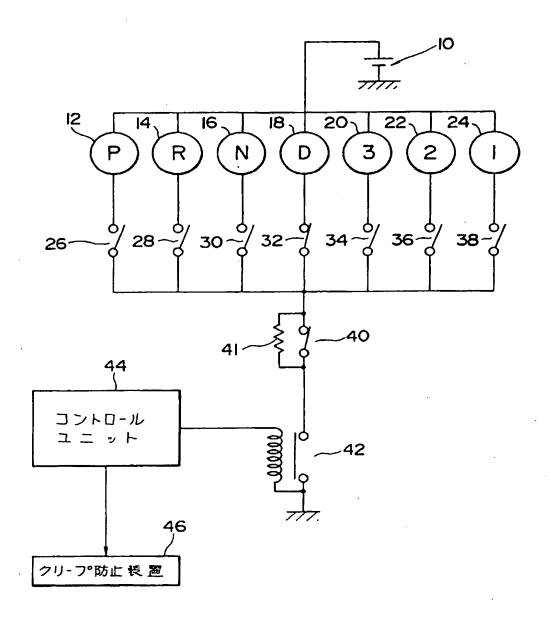
#### (ト)考案の効果

以上説明してきたように、本考案によると、セレクト位置表示装置を用いて他の運転条件をも表示するようにしたので、クリーブ防止装置の作動状態、セレクト位置と実際の変速段との相違する運転状態などを表示するために専用の表示装置を設ける必要がないという効果を得ることができる。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の第1実施例を示す図、第2図は本考案の第2実施例を示す図、第3図は本考案の第3実施例を示す図、第4図は本考案の第4実施例を示す図である。

12、14、16、18、20、22、24・・・ランプ、42・・・インジケータリレー、 44・・・コントロールユニット、46・・・ クリーブ防止装置、65・・・コントロールユニット、66、67、68、69、70、71、 72、73・・・ランプ。

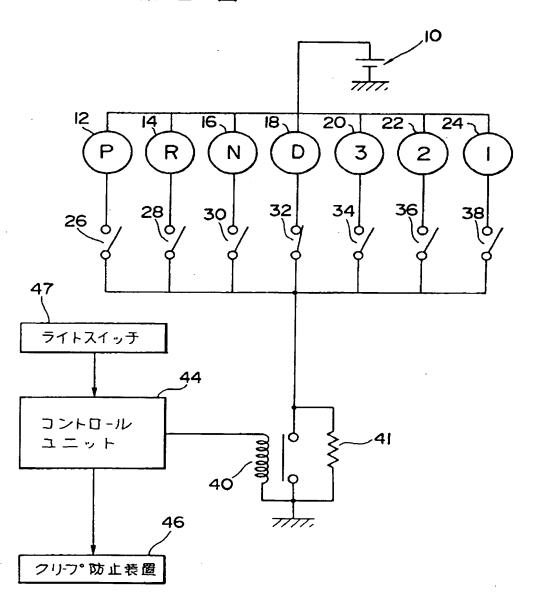


441

代理人弁理士 宮 内 利 行

実備 63-69628 山

第 2 図

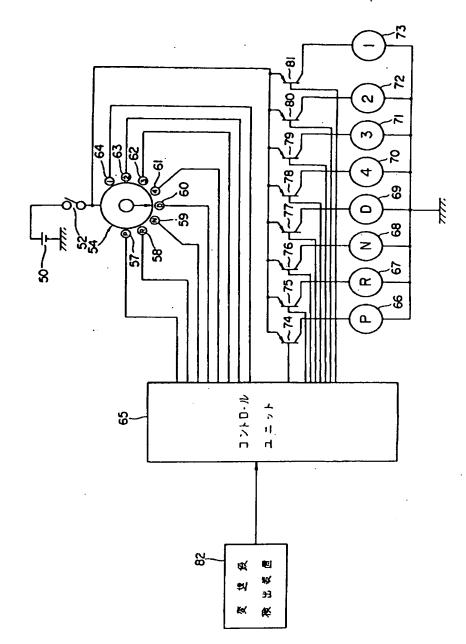


代理人弁理士 宮 内 利 行

実質のトラクスサス

図

気の



代理人并延士 宮 内 利 行 14

図 第 4

111 K 如

代理人弁理士

# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

OTHER: \_

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.